

よりよい幼児教育・保育環境の実現へ

中津川市幼児教育・保育施設適正配置計画の進捗状況

☎ 幼児教育課 (☎内線4222)

適正配置計画とは？

市では、こどもたちの育ちにとって望ましい集団規模を確保するため、令和3年度に中津川市幼児教育・保育施設適正配置計画を策定し、施設配置の見直しや幼保一体化の検討を進めています。詳しくは二次元コードから



■ 策定の背景

現状	課題	対策
<ul style="list-style-type: none">▶ 少子化による園児の減少▶ 施設の老朽化	<ul style="list-style-type: none">▶ 適切な集団活動のための園児数の確保▶ 安全・安心で快適な保育環境の確保	<ul style="list-style-type: none">▶ 施設配置の見直し▶ 幼保一体化の検討▶ 民間との機能分担と効率化

■ 計画年

- ・計画の期間は、令和3年度から令和12年度までの10年間
- ・市内の出生数などを反映し、実態とかけ離れないように、2年に1度の見直しを行なっています。



■ 計画の進捗状況

令和8年4月

- ・一色保育園と中津川保育園を統合しました。
- ・福岡地区3保育園（下野保育園、福岡保育園、高山保育園）を統合・こども園化し、「福岡こども園」として開園しました。



福岡こども園の開園式では、4・5歳児による合唱と看板のお披露目が行われました。

■ 今後の計画 ※令和8年度の適正配置計画の見直しで変更になる場合があります。

令和9年4月

- ・北野保育園と中津川保育園を統合

令和12年4月

- ・山口こども園とやさかこども園を統合
- ・苗木保育園、付知保育園をそれぞれこども園化